

基本計画策定のための区民ワークショップ

実施結果について（簡易報告）

1 実施の目的

新たな基本計画の策定に際し、区民参画の一環として区民の声・意見等を把握し、各施策に反映させる取組みとして、区民ワークショップを実施。

- 2 実施の概要** 1 日目 令和 6 年 9 月 15 日（日） 午前 10 時から午後 4 時 15 分
 2 日目 令和 6 年 9 月 29 日（日） 午前 10 時から午後 4 時 15 分

- 3 実施会場** 豊島区役所 1 階 としまセンタースクエア

- 4 対象者** 区内に在住する 18 歳以上の区民 4,000 人
 住民基本台帳から無作為抽出し開催案内を郵送して募集

5 申込者・参加者

申込者 89 名

参加者数 2 日間合計 73 名（1 日目 39 名、2 日目 34 名）

（内訳）

【申込時点】

年代	人数	性別		割合
		男	女	
10代	2	0	2	2.2%
20代	15	8	7	16.9%
30代	23	8	15	25.8%
40代	18	11	7	20.2%
50代	19	9	10	21.3%
60代	4	3	1	4.5%
70代	6	4	2	6.7%
80代以上	2	1	1	2.2%
合計	89	44	45	100%

【参加実績】

年代	人数	性別		割合
		男	女	
10代	1	0	1	1.4%
20代	13	8	5	17.8%
30代	18	6	12	24.7%
40代	14	9	5	19.2%
50代	18	9	9	24.7%
60代	2	2	0	2.7%
70代	6	4	2	8.2%
80代以上	1	0	1	1.4%
合計	73	38	35	100%

6 テーマ

1 日目	2 日目
・ 孤立を生まない地域づくり ・ 子育てしやすいまちづくり ・ 地域防災力の向上 ・ 地域における文化振興	・ ライフステージに応じた健康づくり ・ 地域・学校・家庭の連携のあり方 ・ 町会活動の活性化 ・ 魅力ある公園

7 実施日程（目安）

※ ☐ グループワークの実施時間

【1日目】9月15日（日）

時 間	内 容	時 間	内 容
10:00～ 10:05	開会・挨拶	13:00～ 14:15	グループ討議 (主要な課題の決定、解決策の検討)
10:05～ 10:15	区の紹介	14:15～ 14:45	グループ討議 (解決策に関する区、区民・事業者等が担うべき役割)
10:15～ 10:30	講演：「総合計画とワークショップ」 立教大学 原田 久 氏	14:45～ 15:50	検討結果の確認
10:30～ 10:35	記念撮影	15:00～ 15:50	検討テーマに関する提案 (各グループ5～10分の発表)
10:35～ 10:40	ワークショップの進め方と 基本ルール（説明）	15:50～ 16:00	区のコメント
10:40～ 12:00	自己紹介 テーマに係る情報提供 グループ討議 (強み・弱み、課題の洗い出し)	16:00～ 16:05	事務連絡・閉会
12:00～ 13:00	昼休憩		

【2日目】9月29日（日）

時 間	内 容	時 間	内 容
10:00～ 10:05	開会・挨拶	14:15～ 14:45	グループ討議 (解決策に関する区、区民・事業者等が担うべき役割)
10:05～ 10:15	区の紹介	14:45～ 15:50	検討結果の確認
10:15～ 10:20	ワークショップの進め方と 基本ルール（説明）	15:00～ 15:50	検討テーマに関する提案 (各グループ5～10分の発表)
10:20～ 12:00	自己紹介 テーマに係る情報提供 グループ討議 (強み・弱み、課題の洗い出し)	15:50～ 16:00	区のコメント
12:00～ 13:00	昼休憩	16:00～ 16:10	記念撮影
13:00～ 14:15	グループ討議 (主要な課題の決定、解決策の検討)	16:10～ 16:15	事務連絡・閉会

8 当日の様子



（グループワークの様子）



（各グループの発表の様子①）



（各グループの発表の様子②）



（発表に対する区のコメント）

9 検討テーマに関する各グループの提案の概要

別紙のとおり。

テーマに関する
主要な課題

解決策

区民ワークショップ 各グループの提案の概要（1日目）

【第1グループ】孤立を生まない地域づくり

- ・ 交流のきっかけがない
- ・ 交流の仕方が分からない
- ・ 交流の場が少ない

- 気軽な交流の場の創出（健康マージャン、日帰りバス旅行 外国人の交流行事）
- 情報発信による生活や暮らしの場（銭湯やコインランドリー等）におけるコミュニケーションの仕掛けづくり
- ボランティア活動の場を創出

- ・ 情報が届かない
- ・ 周知不足

- 情報の信頼性を高める、情報解決型のホームページ作成、
- 紙媒体の活用
- アニメの活用等によるYouTubeの内容の見直し
- SNSに頼りすぎない情報発信
- 広報媒体の見直し（ポスティング、手紙による通知）
- 広報媒体を置く場所の見直し

【第2グループ】子育てしやすいまちづくり

- ・ 子育てに関するまとまった情報がどこにあるか分からない（区HPが分かりづらい）

- ・ 必要な人に子育てサービスの情報が届いていない

- 子育て情報ツールとして、母子モ（母子手帳アプリ）・区公式LINEを活用して区の子育てサービス情報を必要な人に届くように周知

- 区HPの情報を整理（グルーピング）し、閲覧・検索に係る利便性を向上

- 区HPの周知機能の向上
〔年齢に応じた検索、プッシュ通知、AIやチャットGPTの活用〕

- これから親になる人やこれまで関心が低かった人に対する区の子育て支援の取組みのPRや対外発信

【第3グループ】地域防災力の向上

- ・ 防災に関する広報が不十分
- ・ 防災に無関心な人が依然として多い

- 区公式LINE登録者を増やす試み（転入者へチラシ配付・登録者へ防災グッズ配付他）
- 情報発信の強化（SNSを活用した災害時に区ができることの周知・防災コンテンツの増加）
- やさしい日本語の活用

- ・ 地域における交流が少ない（主に単身世帯・若年層）
- ・ 多様な主体との連携

- 住民との連携（特殊技能を有する住民の登録）
- NPO法人との連携（協定の締結）
- 事業者との連携（防災性の高いまちづくり、協定締結他）
- 大学との連携（防災訓練・災害ボランティア）
- 他自治体・姉妹都市との連携（避難者の受入等）

- ・ 被災規模の想定
- ・ 区内は住宅が密集し、道路が狭い

- 将来的な復興に向けた事前準備
- 空き家対策（土地の買取り）
- 多様性等に対応できる施設の準備（①ジェンダー ②病気 ③ペット等）

【第4グループ】地域における文化振興

- ・ 発信力の強化（発信していても気付かれていない）

- ・ 伝統行事に一部の人のみしか参加していない
- ・ 大学生や親子世帯を巻き込む
- ・ 外国人

- ・ 自慢できる豊島区

- SNSを活用した情報発信
- 企業とコラボレーションして区の良い所をPR、商品化（豊島区のお土産）、思い出になる・好きになるきっかけづくり

- 伝統文化の継承を強化、機会づくり、やわらかな接点づくり、子どもの頃からふれる機会を（社会科見学等）
- 学園祭と連携
- 多様な人が参加しやすい仕組みづくり

- 自慢できるモノ・コトを掘り起こす
〔祭り、伝統文化、サブカルチャー（アニメ・コスプレ）都電や桜、居心地の良さ、適度な賑やかさ〕
- 騒音・人混み・治安など住民への配慮

区民ワークショップ 各グループの提案の概要（2日目）

【第1グループ】ライフステージに応じた健康づくり

健康づくり

- 気軽に参加できるイベント型の測定会の開催
- オリンピックなどの競技を体験できるイベントの開催
- ストレスチェックの実施に補助を出し、受けやすくする
- 講座の十分な普及啓発、予約情報の公開
- ハラスメントの動画の配信

・情報発信 ・DXの推進

- 予約体制の整備（電子申請を増やす）
- アクセス（検索）しやすいHPの工夫
- 動画配信内容の要約の掲示
- Webサイトの一元化（リアルタイムの情報）
- ターゲットに合わせたSNSの活用

安全・安心な健康づくりに取り組みやすい環境づくり

- 健康づくりの拠点整備、拠点と拠点を結ぶルート整備
- ニーズに合わせて選択できる健康づくりの場所を増やす
- 区民の主体的な健康づくりの活動をサポートするための窓口を分かりやすくする

【第2グループ】地域・学校・家庭の連携のあり方

学校やPTA頼りではない機会づくりが必要

- 区民ひろば等との連携
- 相談窓口の一元化
- 保護者同士でつながる機会の設定
- コミュニティスクールの周知（仕組みや取り組み）

子どもたちの教育の質や学び、生活環境の向上が必要

- 保護者（在籍・卒業生）の協力
- 外部人材の活用
- 人材マッチング（研修により人材の質を担保）
- 本社がある企業との連携
- 他校の実践例の活用（情報共有）

地域住民が学校に関わるようなつながる場や機会が少ない

- 学校と保護者のつながりの強化
- 防災の取り組み等への参加啓発
- 広報の工夫（デジタル、イベント、相談、区の取り組み紹介）

【第3グループ】町会活動の活性化

・町会の目的・意義の明確化とPRの仕方の工夫 ・若い人・女性・外国人など、多様な区民の町会への参加促進とPRの必要性

○憧れのまちを目指した取り組み

- ・ケース・バイ・ケースで区と区民が協議して役割を分担し、できるだけ連携を強化する
- ・デジタルとアナログを活用した情報発信（閲覧しやすいメニュー、対象ごとにPR方法を工夫）
- ・他区の情報を参考資料として取りまとめ、町会へ支援
- ・イベント開催による人材育成（町会サークル活動・イベント開催）
- ・町会のモニター参加の募集（未加入者の1日体験・入門講座）
- ・外国人への取り組み（外国人主体のイベント）

【第4グループ】魅力ある公園づくり

魅力ある公園をつくるためには、公園それぞれの目的の明確化が必要

- 現状の利用状況の分析
- ・形式的なアンケートだけでなく、事業者から魅力ある公園づくりに関するアイデアをもらう
- ・モデルケースをつくって運営テスト

各公園の目的の明確後のルールづくり

- 禁止事項ではなく「何ができるか」という視点でのルールづくり
- 時間帯によってルールを変える工夫

・公園の情報が分かりづらい ・目的別に調べられるHPがない

- 区HP上の地図で、どんな公園があるか、どういう遊具があるか分かるようにする
- SNSを活用して区と利用者が意見や情報を発信
- IKEBUSを情報発信に活用
- 公園内に電光掲示板のような情報発信ツールを整備（ルールやイベント情報を分かりやすく掲示）
- 公園間の回遊を高めるイベントの開催